

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 3年 3月 12日

事業所名 キッズウェイブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員に対して、十分なスペースを確保している。 ・利用児童の特性に配慮し、活動内容を工夫しながら、スペースを有効活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置と担当業務内容、時間の使い方等について、さらに工夫・改善していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スロープや手すりを設置している。 ・段差のない施設内環境になっている。 ・利用児童の動線に配慮した施設内環境になっている。 ・教具や療育器具等の準備、片付けを徹底し、常に十分な活動スペースを確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内での児童の動きや活動の様子を注視しながら、さらに工夫・改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童には必ず来所時、体調チェックシートの提出、検温、手指の消毒、手洗い等をお願いしている。 ・毎日、施設内の清掃と消毒を行っている。 ・窓の開放による換気を徹底している。また、各部屋に空気清浄器も設置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策等、今後も安心・安全で、心地よく過ごせるような環境づくりを目指し、さらに工夫・改善していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員打合せによる意見交換、課題把握と改善策の検討を頻繁に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年2月に保護者等による事業所評価を実施し、結果を業務改善に反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との情報交換、情報共有の手立てを工夫・改善し、連携を密にしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度末に事業所として自己評価を行い、結果及び改善内容をホームページで公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果(成果と課題)の確認と改善策の検討を全職員で進め、今後の実践に活かしていく。 ・左記の実践を継続、充実させていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に計画、実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に計画、実施したい。

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員打合せやOJTの中で、利用児童のもつ課題や療育内容について話題にし、検討、改善し、実践に活かしている。 ・施設療育顧問を講師とした職員研修会を定期的に開催している。 ・必要に応じて外部の研修会にも参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童のもつ課題やニーズに応じた研修を計画、実施し、日々の実践に活かしていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からのお話や願い、施設で行う発達検査結果等をもとに、支援計画を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設療育顧問による発達検査(新版K式発達検査)を、希望者全員に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続し、結果の活用を充実させていく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に支援目標、支援内容を設定するよう心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に沿った支援を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・療育プログラムは、事前に必ず職員間で検討、改善し、活動のねらいと内容を共有した上で実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じて、療育内容、活動内容を工夫し実施している。 ・より効果的な療育プログラムについて、研究、活用を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容や役割分担については必ず職員間で確認し、事前に作成している療育計画(日案)にも明示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後には必ず職員間で意見交換を行っている。また、その日のリーダーが療育計画(日案)に成果と課題を記入し、全職員で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回必ず記録をとり、支援の評価、改善、職員間の情報共有につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。 	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0	5	・相談支援事業所のサービス担当者会議には参加していない。	・参加できるよう検討していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	・関係機関や保健師と連携を取り、支援を進めている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	・現在、対象児はいない。	・連携の内容や手立てについて検討していく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	・現在、対象児はいない。	・連携の内容や手立てについて検討していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	・必要に応じて、随時施設と園を相互に訪問し合い、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	・必要に応じて、随時連絡を取り合い、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	・必要に応じて、随時連絡を取り、助言をいただいている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0	・どの子ども幼稚園や保育園に通っており、障がいのない子どもと活動する機会はある。	・どの子ども幼稚園や保育園に通っており、障がいのない子どもと活動する機会はある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	0	・統括療育主任が参加している。	・統括療育主任が継続参加していく。 ・会議内容について、職員打合せ等で他の職員への周知を徹底していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・サービス提供記録や子どもの送迎時の会話等を通して、情報共有・共通理解を図っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	0	・施設療育顧問による発達検査、子育て相談の中で、子ども支援の仕方について提示している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・契約時に個別に説明している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	・個別支援計画は保護者に説明し、同意を得ている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・子育て相談は常時受け付け、療育顧問・療育担当者が対応している。	・左記の実践を継続、充実させていく。

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	・令和3年度に計画、実施予定。	・令和3年度に計画、実施予定。 ・施設療育顧問を講師に、「子育て相談会・研修会」という形で、第1回を計画、実施したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・子育て相談は常時受け付け、療育顧問・療育担当者が対応している。その他の申し入れについても、担当者を決め、対応している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・ホームページやインスタグラム、フェイスブック等で、行事予定や活動の様子を公開している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	・個人情報の持ち出しは禁止。 ・個人情報の管理についてもルールを決め、徹底している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・配慮している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	・地域の読み聞かせ団体との交流や地域探検を行うなど、地域の人との関りを大切に施設運営を進めている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	・マニュアルの職員への周知は行っている。	・令和3年度、発生を想定した訓練を実施予定。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・定期的に「いのちを守る訓練」を実施している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	・契約時に個別に確認している。 ・保護者に提出していただく「毎身体調チェックシート」でも確認している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	・現在、対象児はいない。	・利用契約時に食物アレルギー調査票を提出いただき確認、把握している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・職員打合せで確認している。	・ヒヤリハットが発生しないように、常に気を付けている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・施設内での職員打合せ、職員研修等で周知徹底している。	・職員全員が常に意識し、療育にあたっている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	・現在、対象児はいない。	・必要に応じて、適切に判断し対応していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 3年 3月 12日

事業所名 キッズウェイ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員に対して、十分なスペースを確保している。 ・利用児童の特性に配慮し、活動内容を工夫しながら、スペースを有効活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置と担当業務内容、時間の使い方等について、さらに工夫・改善していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スロープや手すりを設置している。 ・段差のない施設内環境になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内での児童の動きや活動の様子を注視しながら、さらに工夫・改善していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員打合せによる意見交換、課題把握と改善策の検討を頻繁に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年2月に保護者等による事業所評価を実施し、結果を業務改善に反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との情報交換、情報共有の手立てを工夫・改善し、連携を密にしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、自己評価を行結果及び改善内容をホームページで公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果(成果と課題)の確認と改善策の検討を全職員で進め、今後の実践に活かしていく。 ・左記の実践を継続、充実させていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に計画、実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に計画、実施したい。

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員打合せやOJTの中で、利用児童のもつ課題や療育内容について話題にし、検討、改善し、実践に活かしている。 ・施設療育顧問を講師とした職員研修会を定期的を開催している。 ・必要に応じて外部の研修会にも参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童のもつ課題やニーズに応じた研修を計画、実施し、日々の実践に活かしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からのお話や願い、施設で行う発達検査結果等をもとに、支援計画を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設療育顧問による発達検査(新版K式発達検査)を、希望者全員に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続し、結果の活用を充実させていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・療育プログラムは、事前に必ず職員間で検討、改善し、活動のねらいと内容を共有した上で実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じて、療育内容、活動内容を工夫し実施している。 ・より効果的な療育プログラムについて、研究、活用を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、児童に合わせた支援を工夫、実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容や役割分担については必ず職員間で確認し、事前に作成している療育計画(日案)にも明示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・支援終了後には必ず職員間で意見交換を行っている。また、その日のリーダーが療育計画(日案)に成果と課題を記入し、全職員で共有している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・毎回必ず記録をとり、支援の評価、改善、職員間の情報共有につなげている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	0	・状況に合わせて支援内容を工夫、実践している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・相談支援事業所のサービス担当者会議には参加していない。	・参加できるよう検討していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	・必要に応じて、学校との情報共有、連絡調整を適切に行っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	・現在、対象児はいない。	・連携の内容や手立てについて検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	・必要に応じて関係機関と連絡を取り、情報共有を行っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	0	・これまでに該当児童はいない。	・必要に応じて適切に対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	・必要に応じて、随時連絡を取り、助言をいただいている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	5	・どの子ども小学校、特別支援学校等に通っており、障がいのない子どもと活動する機会はある。	・どの子ども小学校、特別支援学校等に通っており、障がいのない子どもと活動する機会はある。 ・学校休業日の活動として、交流プログラムの開発、実践を進めたい。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	2	・統括療育主任が参加している。	・統括療育主任が継続参加していく。 ・会議内容について、職員打合せ等で他の職員への周知を徹底していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・サービス提供記録や子どもの送迎時の会話等を通して、情報共有・共通理解を図っている。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	・施設療育顧問による発達検査、子育て相談の中で、子ども支援の仕方について提示している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・契約時に個別に説明している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・子育て相談は常時受け付け、療育顧問・療育担当者が対応している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	・令和3年度に計画、実施予定。	・令和3年度に計画、実施予定。 ・施設療育顧問を講師に、「子育て相談会・研修会」という形で、第1回を計画、実施したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・苦情対応担当者を決め対応している。その他の申し入れについても、担当者を決め、対応している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・ホームページやインスタグラム、フェイスブック等で、行事予定や活動の様子を公開している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	・個人情報の持ち出しは禁止。 ・個人情報の管理についてもルールを決め、徹底している。	・左記の実践を継続、充実させていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・配慮している。	・左記の実践を継続、充実させていく。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の読み聞かせ団体との交流や地域探検を行うなど、地域の人との関りを大切に施設運営を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの職員への周知は行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度、発生を想定した訓練を実施予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に「いのちを守る訓練」を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の実践を継続、充実させていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内での職員打合せ、職員研修等で周知徹底している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が常に意識し、療育にあたっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、対象児はいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、適切に判断し対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、対象児はいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約時に食物アレルギー調査票を提出いただき確認、把握している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員打合せで確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットが発生しないように、常に気を付けている。